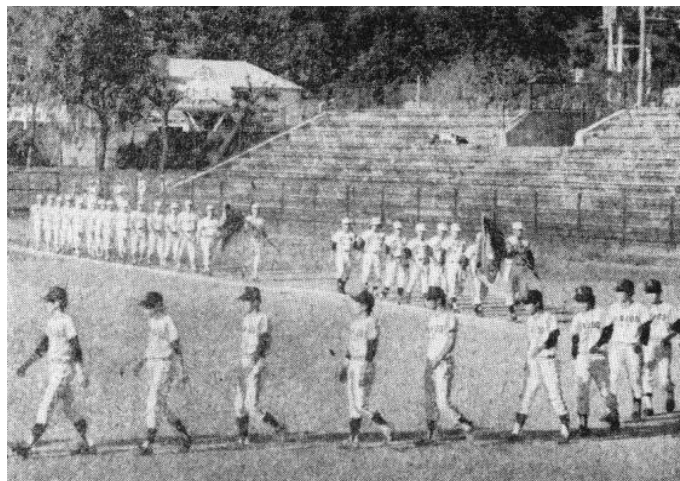


# 延長21回の死闘決勝戦を制したカワシモスポーツが初V

## 第23回長崎県軟式野球選手権大会

会期 昭和48年11月3日(土)～4日(日)

三菱重工長崎(推薦)	3	
平戸クラブ(北松・松浦・平戸)	4	1
カワシモスポーツ(佐世保)	5	3
大村市役所(大村東彼)	3	0
福江球友会(福江南松)	2	
中村スポーツ(長崎)	8	2
池島鋳業所(西彼)	1	1
諫早ドッグブラザ(諫早北高)	5	3
有明町クラブ(島原南高)	3	1
厳原ボンバーズ(対馬)	1	



白球に王座をかける第23回県軟式野球選手権大会は文化の日の3日、秋晴れのすがすがしい好天に恵まれ午前9時、選手入場の開会式から開幕した。試合は同球場で二回戦の4試合、長崎商高グラウンドで同2試合の計6試合が行われた。一回戦では大会6連覇中

の三菱重工長崎造船所が平戸クラブに3-4で敗れる乱戦模様となった。この日の大橋球場は本塁側から中堅へ、いわゆる「ホームラン風」が吹き、4試合で4本の本塁打が飛び出すなどファンを魅了した。

(昭和48年11月4日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

## 6連覇中の三菱重工姿消す

## 平戸クラブが大殊勲

【平戸】打安点

⑤正木	4	1	0
⑦石田	2	0	0
④新地	2	1	2
③早田	3	1	0
⑧高本	2	0	0
⑥江田	3	2	2
②塩川	3	0	0
①肥後屋	2	0	0
H亀井	1	0	0
1大畑	0	0	0
⑨米原	3	0	0
25 5 4			

肥後屋大畑で逃げ込む

【一回戦】=大橋:第1試合= 振球犠盗失残併

平戸クラブ	202	000	0	4	8	0	3	0	0	3	0
三菱重工長崎	000	003	0	3	3	4	2	0	2	6	0

【本】新地、橋本【三】江田【二】小山 1時間55分

【評】「V7」を目指す三菱は初回から平戸に押され、六回に激しく追いつがったが僅かに及ばなかった。

平戸は初回に三菱・川上の立ち上がりを攻め安打と敵失で一死一三塁に6番の江田が三塁線を鋭く破り2点。また三回には敵失走者を一塁に置いて3番の新地が内角高目の好球を軽々と左翼スタンドへ大会第1号の2点本塁打。

三菱は五回まで平戸の肥後屋に散発2安打に抑えられていたが六回一死後に橋本の左翼場外本塁打で1点。その後4連打で2点を挙げ1点差まで追い詰めたがそれまで。最終回に代わった大畑にうまくかわされ初戦で消えた。

【三菱】打安点

③9山田	1	0	0
9田原	2	0	0
⑥福岡	1	0	0
H8上内	1	0	0
H岩崎	0	0	0
⑤橋本	3	1	1
②井戸口	3	1	0
④森崎	3	1	0
①3川上	3	1	1
⑧野原	1	0	1
⑦海辺	3	1	0
⑨岩本	0	0	0
1小山	3	1	0
24 6 3			

【中村】打安点

⑤小川	4	1	1
③崎村	4	3	1
⑧中村	4	3	0
⑥原	2	1	2
⑨2内山	4	0	0
④上田	3	0	0
⑦永田	3	1	0
②山口	0	0	0
H9岸川	2	0	0
①田中	0	0	0
1町田	1	0	0
27 9 4			

## 中村、うまい攻撃 池島は初回の逸機たたる

【一回戦】=長商高:第1試合= 振球犠盗失残併 1時間38分

中村スポーツ	330	100	1	8	3	3	2	6	3	3	1
池島鋳業所	000	100	0	1	5	2	1	2	1	5	1

【二】中村 ◇暴投 尾上

【評】中村の完勝。初回到尾上、崎村の安打を口火に3連打。さらに敵失を絡めて3点をもぎ取った。二回にも足を使ったうまい攻撃で3点追加し早々と主導権を握った。その後も再三好機を作り、四回は崎村、七回は中村の適時打で加点し一方的な試合とした。

池島は四回に田口の左前打と敵失から花田の左犠飛で1点を返したにとどまった。池島にとって惜しまれるのは二つの敵失で無死二三塁としながら後続が凡退して反撃機を逸した初回の攻撃。ここをなんとかしていたら反撃の意気も大いに盛り上がったに違いない。

【池島】打安点

④田中	3	1	0
4松崎	0	0	0
⑤白浜	3	0	0
⑨6出口	3	1	0
②大始良	3	0	0
①尾上	3	0	0
⑦花田	1	0	1
⑧山本	3	0	0
③須藤	2	0	0
⑥鈴木	1	0	0
H9菜切	2	0	0
24 2 1			

# 大村市役所が辛勝

【二回戦】=大橋:第2試合= 振球犠盗失残併

大村市役所	100 020 0	3	4	4	1	1	3	3	0
福江球友会	010 001 0	2	2	0	0	0	0	4	1

【本】岩下【三】田中範【二】新高、貞方 1時間25分

【評】大村は初回四球で出た走者をバントで二塁に進めたあと3番の新高が左中間を深々と破る二塁打でかえして先攻。五回にも四球と安打に敵失が絡んで2点を加点した。

これに対して福江は二回に4番岩下が左翼へ大会第3号本塁打して同点。2点差を追う六回は二塁打で出た貞方を田中範の三塁打で還して1点差と詰め寄ったが、大村の西投手に要所要所を抑えられ得点結び付けられず惜敗した。

【大村】打安点

⑤橋本	2 0 0
④馬場	1 0 1
⑥新高	3 1 1
⑧山崎	2 1 0
①西	3 0 0
⑦高治	3 0 0
⑨谷山	3 0 0
③今里	3 0 0
②前川	3 1 0

西、福江球友会をかむす

23 3 2

【福江】打安点

②田端	4 0 0
⑨才津	3 0 0
⑤貞方	3 1 0
⑥岩下	3 1 1
①田中範	3 1 1
③井川	3 0 0
④石本	2 0 0
H平山	1 0 0
⑧茂	2 0 0
H田中溝	1 0 0
⑦畑中	2 1 0
H布袋	1 0 0

28 5 2

# カワシモが長打で圧倒 平戸ク敗退

【平戸】打安点

⑤正木	4 0 0
①石田	4 1 0
⑦新地	3 1 0
③早田	4 1 0
R大畑	0 0 0
⑧高本	4 0 0
⑥江田	2 0 0
②塩川	2 0 0
④池上	1 1 1
⑦米原	1 0 0

25 4 1

【二回戦】=大橋:第3試合= 振球犠盗失残併

平戸クラブ	010 000 0	1	3	7	0	4	1	10	0
カワシモスポーツ	131 000 X	5	2	5	0	1	1	4	0

1時間50分

【本】虎屋【三】渡辺尚、米丸【二】石田、早田

【評】長打力に勝るカワシモが平戸を圧倒し前半で勝負を決めた。初回カワシモは四球、二盗、犠打の走者を渡辺尚の三塁打で還し先制。二回には四球と敵失走者を米丸が右中間三塁打で2点。その後三塁牽制悪送球で勞せず生還。三回には虎屋が左翼スタンドに打ち込みダメを押した。(右写真)

平戸もなんとか反撃に転じようとしたが、二回二死後に四球と二盗の塩川を池上が中前適時打でかえした1点だけにとどまった。



【カワシモ】打安点

②米丸	2 1 2
⑤南里	3 0 0
⑧虎屋	3 1 1
④渡辺尚	3 1 1
①渡辺堪	3 0 0
⑨蒲地	0 0 0
③松野	2 0 0
⑥山崎	2 0 0
⑦木原	3 0 0

21 3 4

3回裏のカワシモは先頭の虎屋が左越え本塁打して5点目を挙げる。

# 諫早が突き放す 中村、終回の追撃実らず

【二回戦】=大橋:第4試合= 振球犠盗失残併

中村スポーツ	000 100 1	2	4	2	0	1	4	6	0
諫早ドッグプラザ	100 031 X	5	7	3	1	2	3	3	0

【二】宇戸、岩川 1時間50分

【評】1-1で迎えた五回裏、諫早は一死から敵失と安打で一二塁。続く古川は三振に倒れたが山口欽の遊ゴロ一塁悪送球となってまず1点。ここで高橋が中前にうまく打ち返して更に2点を加えた。

六回にも長短打で無死一三塁として1番山口義の内野ゴロでダメ押しの1点を加え勝負を決めた。

中村も最終回に代打の山田が選球眼よく四球で生き、ワイルドピッチで二進。続く二者は凡打に倒れたが代打の岩川が左中間二塁打し1点を挽回。後続に望みをつないだが最後は左飛に倒れた。

【諫早】打安点

⑧山口義	4 0 1
⑦向井	3 0 0
③今畑	3 1 0
⑤古川	3 1 0
④山口欽	3 0 0
⑥高橋	2 2 2
②佐藤	3 0 0
①宇戸	3 1 0
⑨船木	1 0 0
H北川	2 1 0

27 6 3

【中村】打安点

⑥原	4 0 0
③崎村	3 1 0
⑨2内山	3 1 0
⑧中村	3 1 0
⑤小川	3 0 0
④上田	2 0 0
H山田	0 0 0
⑦永田	3 1 1
②池田	1 0 0
9小林	2 0 0
①町田	2 0 0
1田中	0 0 0
H岩川	1 1 1

27 5 2

# 巖原の反撃あと1歩 有明ク、見事な先制攻撃

【二回戦】=長商高:第2試合= 振球犠盗失残併

巖原ボンバーズ	000 100 0	1	7	2	1	2	0	5	0
有明町クラブ	200 010 X	3	3	1	0	10	0	6	0

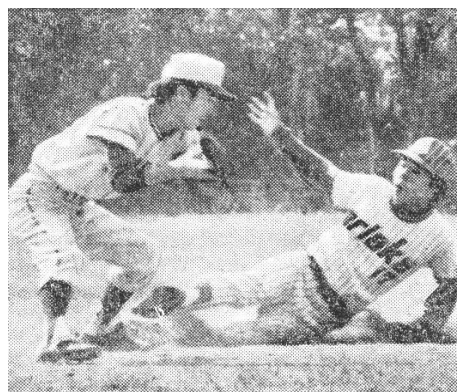
【二】竹之内 1時間5分

【巖原】打安点

⑤阿比留	3	0	0
⑦初村	3	0	0
⑥島居	2	1	0
②田頭	3	1	0
③吉見	3	2	1
⑧中島	3	0	0
①藤原	1	0	0
1本石	0	0	0
H柴田	1	0	0
⑨河田	1	0	0
H神宮	1	0	0
④長郷	2	0	0
H長久	1	0	0
			24 4 1

【評】有明の先制は見事だった。トップの吉田浩が遊撃内野安打。すかさず二盗。金子三振の後竹之内が期待にこたえて左越え大二塁打で吉田を還した。さらに吉田富も鮮やかに左前へ打ち返し竹之内が二塁から生還。二回の無死二三塁の好機は逸したが、四回に1点差とされた五回に再び吉田浩が足でかせいだ内野安打で生き二三盗を決めた後、初回と同様に竹之内が今度は右前適時打して突き放した。

一方、巖原は四回吉見の幸運なテキサス安打で1点差とし、六回にも二死二三塁の一打同点機を迎えたが中島が三振に倒れ追い付けなかった。



5回裏、有明は一死二塁走者の吉田が三盗を決める

【有明】打安点

②吉田浩	3	2	0
①金子	3	0	0
⑤竹之内	3	2	2
⑧吉田富	3	1	1
⑥松本勇	3	0	0
③高見	3	1	0
⑦酒井	3	0	0
④吉田輝	2	0	0
⑨松本良	2	0	0
H9林田	1	0	0
			26 6 3



第23回県軟式野球選手権大会最終日の4日は前日に続き好天に恵まれて会場の大橋球場には熱心なファンが詰めかけて準決勝と決勝戦の3試合が行われた。

第1試合の大村市役所-カワシモスポーツは四回まで抑えられていたカワシモ打線が爆発し3長短打で3点をあげ投手陣も好調の波に乗って大村を散発4安打で封じた。続く諫早ドッグプラザ-有明町クラブは長打力に勝る諫早が二回にランニング本塁打などで2点。六回にも加点して計3点。有明も懸命に反撃したが六

回に長短打で1点返すのが精一杯だった。

決勝戦は四回にカワシモが本塁打で先行すれば諫早も五回に連打で同点とし中盤からやや押し気味に試合を進めた。しかしもう一つ詰めを欠き今大会初の延長戦。しかも延々21回の死闘となった。結局延長21回表にカワシモの1番米丸が本塁打を放って劇的な勝利を手中にした。長崎市代表以外のチームが優勝したのは34年第9回大会の親和土建(佐世保)以来14年ぶり。

(昭和48年11月5日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)



# 大村、好機生かせず 5回カワシモ打線爆発

【大村】打安点

⑤橋本	3	0	0
④馬場	4	2	0
⑥新高	4	1	0
⑧山崎	4	0	0
①西	4	1	0
⑦高治	3	0	0
H徳久	0	0	0
⑨谷山	3	0	0
H阿部	1	0	0
③今里	3	0	0
H塩田	0	0	0
②前川	2	0	0
H沖田	1	0	0
			32 4 0

【準決勝】 1時間50分 振球犠盗失残併

大村市役所	000 000 000	0	7	3	1	0	1	9	0
カワシモスポーツ	000 030 00X	3	4	0	1	2	2	6	0

【三】木原【二】木原 ◇守備妨害 山口

【評】四回まで大村の西投手に抑えられていたカワシモ打線が五回についに爆発し3長短打で一気に3点を挙げ、投げては渡辺堪一本山の継投で大村を4安打に封じ込めた。

五回のカワシモは一死後に松野が中前打。続く山崎の投前ゴロも幸運な内野安打となり一二塁。ここで9番の木原が右越え三塁打で一掃し、木原も米丸の左犠飛で還った。それまで好機らしい好機も作れず西投手を打ちあぐんでいただけにこの回のソツない攻撃は立派だった。また六回は二死後に一二塁としたが後続が凡退し加点できなかった。

これに対して大村は四回までに安打と敵失走者を毎回出したがもう一つ続かず完封された。特に四回一死後に敵失でつかんだ一二塁の好機を得点に結び付けなかったのが惜まれる。

【カワシモ】打安点

②米丸	3	1	1
⑨南里	4	0	0
⑧虎屋	4	1	0
⑤山口	4	1	0
④渡辺尚	4	1	0
⑬渡辺堪	4	1	0
③松野	3	1	0
1本山	0	0	0
⑥山崎	3	1	0
⑦木原	3	2	2
			32 9 3



【諫 早】打安点

⑧	山口義	2	0	0
⑥	向井	5	1	0
③	今畑	4	1	0
⑤	古川	3	0	0
⑨	山口欽	3	1	1
②	田中	3	0	0
④	佐藤	4	3	1
①	宇戸	4	1	1
⑦	船木	3	1	0

31 8 3

# 有明を振り切る 諫早

【準決勝】 1時間30分 振球犠盗失残併

諫早ドッグプラザ	020 001 000	3	4	6	1	1	0	8	0
有明町クラブ	000 001 000	1	6	1	0	1	0	2	2

【本】山口欣【三】宇戸、佐藤、金子【二】竹之内

【評】諫早は二回一死から山口欽が右中間に深々と。中継プレーの拙さも手伝ってランニング本塁打。二死後に佐藤が内野安打で出て宇戸が再び右中間を破って適時三塁打。四死球で満塁と攻め続けたが巧打は出ずこの回は2点。六回は死球を犠打で進め7番佐藤の右越え三塁打で1点を加点した。

有明もなんとか反撃しようと食い下がり、六回裏に先頭・酒井が内野安打し二盗。二死後に金子が左中間三塁打して1点挽回して後続に繋ぐも凡退。七回以降は三者凡退に抑えられた。

【有明】打安点

⑦	吉田浩	4	0	0
①	金子	4	1	1
⑤	竹之内	4	1	0
⑧	吉田富	3	0	0
②	吉田正	2	0	0
③	高見	3	0	0
⑥	松本勇	3	0	0
⑨	酒井	3	1	0
④	宇戸	1	0	0
H4	吉田輝	1	0	0
H	林田	1	0	0
4	松本良	0	0	0

29 3 1

# カワシモ初優勝 延長21回、諫早涙のむ 米丸が決勝ホームー

【カワシモ】打安点

②	米丸和彦	8	2	1
⑨5	南里孝一	9	1	0
⑧	虎屋良徳	8	0	0
⑤1	山口桂二	8	2	1
③9	渡辺堪二	8	1	0
④	渡辺尚久	7	1	0
①3	本山昇	8	1	0
⑥	山崎儀佐夫	8	1	0
⑦	木原豊	7	1	0

71 10 2

(控)監:蒲地泰比古、森山邦広、松野照己、中本昇、頼田博文、古賀憲治、中村文昭、辻照男、井ノ元章、森重正昭、福添清一

【諫 早】打安点

⑧	山口義春	8	2	1
⑥7	向井敦	#	2	0
③9	今畑康夫	#	2	0
⑤	古川隆夫	9	0	0
⑨	山口欽士	7	2	0
R3	北川正治	0	0	0
②	田中稔	7	1	0
④	佐藤龍也	7	1	0
①	宇戸直善	7	2	0
⑦	船木悦夫	2	0	0
H	木下守昭	1	0	0
6	高橋睦夫	6	2	0

74 14 1

(控)監:鶴嶋忠義、山口健一、山口一志、広谷英徳、岡本明、

【決勝】 3時間50分 (延長21回) 振球犠盗失残併

カワシモスポーツ	000 100 000 000 000 000 001	2	11	3	1	3	2	10	0
諫早ドッグプラザ	000 010 000 000 000 000 000	1	10	8	3	2	1	21	1

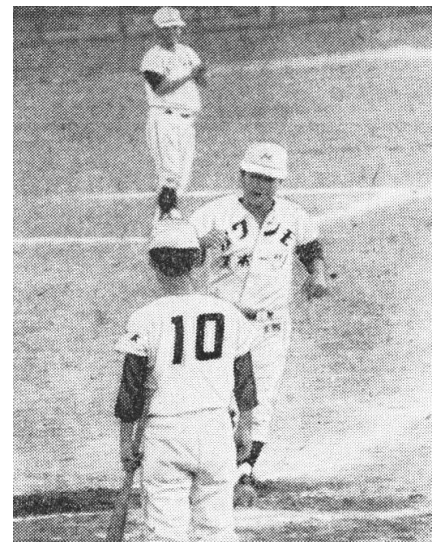
【本】山口、米丸【三】今畑【二】田中、本山

【評】試合時間3時間50分。延々と続いた21回。何回も好機を得ながらももう一步の詰めを欠き、どうしても得点出来ない諫早。そしてこの日も二死。だれもが試合はまだ続くと思ったことだろう。ここでまさか本塁打が飛び出し、この勝負に決着がつこうとは……。

この21回表、諫早の投手・宇戸は二者を簡単に打ち取り二死。そして1番の米丸を迎えた。初球はストライク。2球目がボール。3球目は内角高目にボールは走った。米丸が「こごぞ」と、ばかり打ち込めば打球はグングン伸びて左翼スタンドへ。大会第7号となった勝ちある一発で勝負はついた。諫早はその裏無死一塁としたが後続がいずれも凡打に倒れてしまった。

この試合四回まではカワシモが主導権を握った。初回から死球、内野安打で激しく攻めつけ、そして四回4番山口が初球を強引に左翼スタンドに持っていき先制。

しかし五回からは逆に諫早打線がギリギリと反撃に転じ、その回に宇戸が幸運な内野安打で出塁。一死後に3連打で同点とし尚も満塁。逆転の絶好機を迎えたが、4番古川の右飛で三塁走者が本封。この逸機は大きかった。その後も毎回のように入場者を出し逆転は時間の問題とさえ思われた。また宇戸も調子を取り戻しただけに惜まれる。特に19回の内野安打と四死球で一死満塁にしながら遊ゴロで本封。期待は4番古川にかかったが、三振に倒れた。



21回表カワシモは二死後1番の米丸が左翼席スタンドへたたき込み決勝点。迎える10番は主将の南里。



21回の死闘を終え、晴れ晴れとした表情でダイヤモンドを一周するカワシモスポーツライン

第23回大会で準優勝した諫早ドッグプラザの宇戸直善投手は大会プログラムによればこの年に38歳。二回戦の中村スポーツ戦で7回完投して2失点。二日目の準決勝(有明クラブ戦)も9回完投(1失点)し続けての決勝戦が21回を完投し、二日間で37イニングスを一人で投げ抜いているが、22年前の昭和26年第1回大会は対馬高校三年生で、全巖原のエースとして出場。共済病院(佐世保)戦で7回完投勝利。その日の長崎刑務所(諫早北高)戦で0-1の完投敗戦をしている。その好投が認められて卒業後の就職が

約束されて長崎機械工具へ。後に長崎県庁に移った33年の長崎県下労組野球大会では相手を完全に抑ええるのだが味方打線の援護がなく延長戦の連続。決勝戦の西肥バスとの試合も双方無得点のまま延長24回に突入し、この回に1点を許して準優勝。大会三日間3試合で61イニングス投げて失点1という鉄腕ぶりの記録も残っている。

県選手権大会での快投ぶりは本書の各年大会で随所に、長崎機械工具や県庁に諫早クラブのエースとして記している。

昭和48年のできごと

天皇賜杯第28回全日本軟式野球大会【51チーム】

(S48. 8. 18～・三重県津市ほか)

【一】 三菱重工長崎 1-3 千葉相互銀行(千葉)

第28回千葉国体・県選考会(7. 21～22・島原市営)

有明町クラブ 12-3 江迎病院  
 諫早ドッグプラザ 3-1 大阪鋼管(佐世保)  
 松早石油店 8-0 大村火力発電所  
 親和銀行 5-1 池島鉱業所

高松宮賜杯第17回全日本1部・九州地区予選

(8. 22～23・佐賀球場)

全 枕 崎(鹿児島)	5	
日南市役所(宮崎)	0	2
八幡スポーツクラブ(福岡)	1	1
川治野球クラブ(熊本)	0	(延長30回)
有田町役場(佐賀)	1	
佐伯オリオンズ(大分)	5	0
宮島醤油(佐賀)	3	1 (延長19回)
有明町クラブ(長崎)	4	(延長12回)

第28回千葉国体・西九州大会(9. 8～9・佐賀球場)

【一】 諫早ドッグプラザ 1-0 鳥栖市役所  
 (延長18回裏でサヨナラ)  
 【一】 親和銀行 1-0 北方クラブ  
 【一】 有明町クラブ 0-1 佐賀県経済連  
 (延長10回裏でサヨナラ)  
 【一】 松早石油店 0-2 佐賀県信連

高松宮賜杯第17回全日本1部【16チーム】

(10. 3～・島根県松江市ほか)

【一】 有明町クラブ 2-4 フジクラブ(静岡)

第28回千葉国体【29チーム】(10. 15～・成田市ほか)

【一】 親和銀行 0-2 帝国通信赤穂(長野)

第25回県民総合体育大会・軟式野球競技(6. 2～・長崎)

【準決勝】 対馬 1-0 平戸  
 諫早 4-1 長崎  
 【決勝】 諫早 1-0 対馬

常陸宮賜杯第9回全日本準硬式野球大会【52チーム】

(6. 2～・高知県高知市ほか)

【一】 親和銀行 0-2 秋田市役所(秋田)